

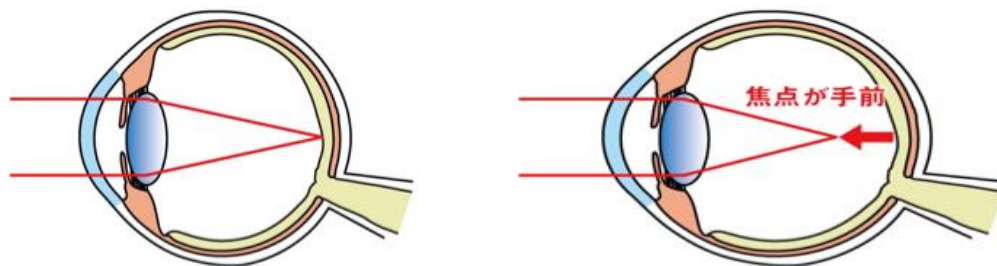
子どもの 近視抑制



柏瀬眼科

子どもの近視

子どもの近視は、眼球が楕円形に伸びてしまう（眼軸長が伸びる）ことで焦点が手前になることにより生じるケースが多くあります。近くで見るのが習慣化してしまうと近視になりやすく、一度、伸びた眼球が元に戻ることはありません。そのために眼軸長の伸びを抑えることが、近視の進行を抑制するためには重要となります。



正视

近視

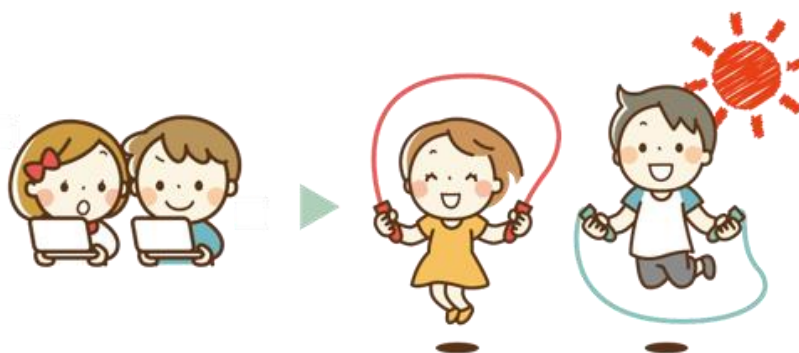
近視進行の危険性

近視が進行＝眼球が長くなった＝網膜が薄くなる

将来、網膜剥離や黄斑出血（出血で真ん中が見えなくなる）のリスクが高くなる！！

近視はどのように起こるのか

近視の発症には遺伝的要因と環境要因の両方が関与するといわれています。遺伝的要因とは、先祖や両親から受け継いだ遺伝子によって生じるというものであり、環境要因としては、屋外活動の減少や近見作業の増加関与が報告されています。ただし、このどちらが原因であるかという判定をすることは困難で、両者が関係して近視になると考えられています。



近視抑制の方法

① 低濃度アトロピン点眼液

0.01%アトロピン点眼液を1日1回2年間使用したところ、点眼を行わない場合に比べて平均50%の近視進行を抑制し、さらに点眼を中止した後も効果が持続することが報告されています。

1日1回、毎日点眼します。



費用（税込）

	検査料
処方検査	3,500 円
定期検査① 3か月	3,500 円
定期検査② 6か月	3,500 円
定期検査③ 9か月	3,500 円

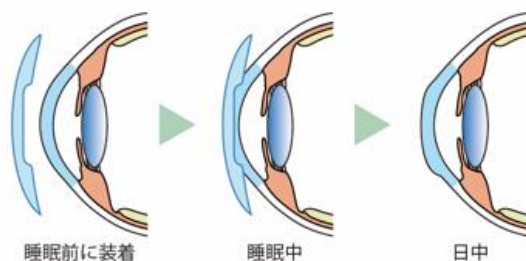
※3ヶ月毎の定期検査となります。

※検査料とは別に目薬代が掛かります。

目薬代・・・2,700 円/本（3か月分まとめて出せます）

② オルソケラトロジー

近視は網膜の手前に焦点が合っている状態のため、カーブの弱い特殊なハードコンタクトレンズを睡眠時に装着して一時的に角膜の形状を平らにし、焦点を後方にズらすことで眼鏡やコンタクトなしで見えるようになります。レンズを外しても一定時間はその形状が続くので、日中は裸眼で過ごすことが可能です。オルソケラトロジーは、装用により眼軸の延長が抑制される（通常の眼鏡やコンタクトレンズ比で平均30～60%の抑制効果）ことが多くの研究により示されており、比較的信頼性の高い治療法といえます。また、医療費控除の対象となります。



※アトロピンとの併用で約76%の抑制効果があります。

費用（税込）

お試し費用・・・5,500円（検査代、レンズ代、ケア用品代含む）

初期費用・・・・・・・・107,800円

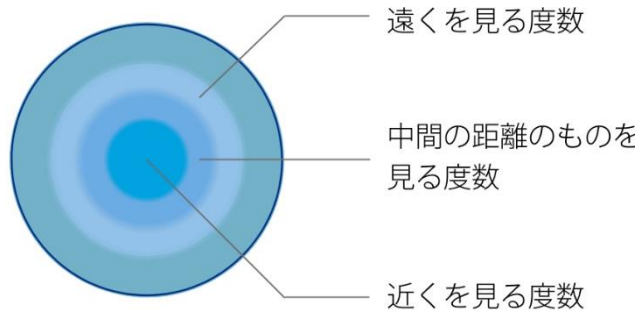
月額保証料・・・6,600円（両眼）
3,300円（片眼）

定期検査代・・・13,200円（1年間）

定額保証サービスの為、レンズの交換、度数変更などは無料。
レンズ紛失の場合のみ、16,500円のレンズ作製費が掛かります。

③ 多焦点ソフトコンタクトレンズ

多焦点ソフトコンタクトレンズによって周辺部網膜の焦点ボケを軽減することで、眼軸の延長を抑え、近視の進行が抑制されることが複数の報告で示されています。しかし、この方法は、前述した低濃度アトロピン点眼やオルソケラトロジーと比較して未だ有効性を裏付ける十分な科学的証拠（エビデンス）は得られていません。



費用（税込）

	検査料
サイプレジン検査	3,500 円
定期検査① 3 か月	3,500 円
定期検査② 6 か月	3,500 円
定期検査③ 9 か月	3,500 円

コンタクトレンズ代	1 か月	2 か月	3 か月
1 日タイプ	7,540 円	15,080 円	22,620 円
2 週間タイプ			8,860 円 (ケア代含む)

※経過により度数調整が必要となりますので、当院指定の「コンタクトの大沢象雲堂」で購入してください。

④累進屈折メガネ

近くを見るとききの調節を軽減させ、網膜の中心部における焦点ボケを防ぐことで眼軸の延長を抑制します。



費用（税込）

	検査料
サイプレジン検査	3,500 円
定期検査① 3 か月	3,500 円
定期検査② 6 か月	3,500 円
定期検査③ 9 か月	3,500 円

※レンズ代・・・・・・約 30,000 円＋フレーム代

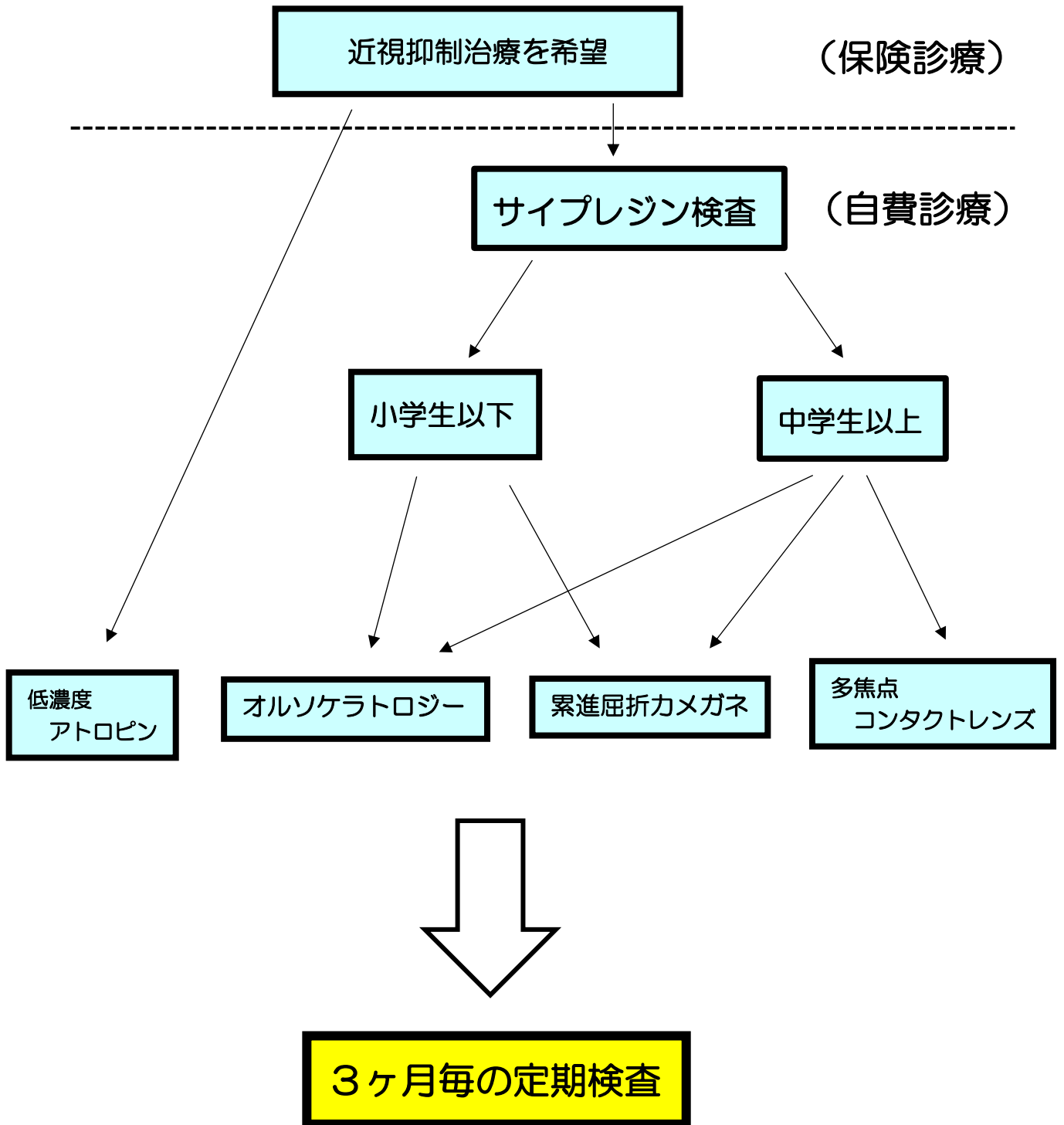
フレーム代につきましてはメガネ担当にお問い合わせください

※経過により度数の調整が必要となりますので、メガネは当院指定の眼鏡店で作製してください。

⑤その他にも・・・

- ・近くの作業（スマホやゲーム、勉強や読書！？）時間の短縮
- ・太陽を 1 日 2 時間以上浴びる

受診までの流れ



※効果を判定するためにも、最低2年間はいきましょう。

サイプレジン検査をする患者さんへ

私たちはものを見る時、目の筋肉が水晶体を厚くすることで、ピントを合わせています（カメラのオートフォーカスのように）。この働きを「調節」といいます。子どもは、この調節力がとても強いため、通常の検査では正確な目の状態が分かりません。そのため、キッチリとした度数を測るためには筋肉の調節を休ませる目薬を使用し、調節していない状態で精密検査をする必要があります。

5分毎に点眼3回 → 1時間後に視力検査

注意点

- 点眼後3分間、目頭を押さえてください。押さえが不十分で鼻へ目薬が流れてしまうと、まれに副作用として顔が赤くなることやめまいを感じることもありますので必ず行ってください。
- 目薬の効果で瞳が大きくなり、光を眩しく感じたり、近くが見づらくなる場合がありますが、約2～3日で薬の効果はなくなり瞳の大きさは元に戻ります。なお授業や運動に影響が出る場合もありますので、学校の先生にその旨をお伝えください。

※ご不明な点は、スタッフにお尋ねください